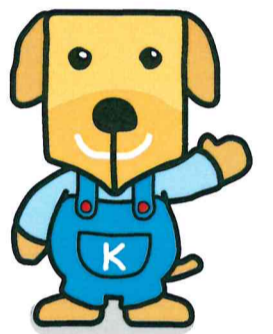




発行所 高知新聞社  
高知市本町3丁目2-15  
088-822-2111 780-8572  
©高知新聞社



# ようこそ まほろばセンターへ

中芸高校の皆さんが印刷工場見学



印刷は最高速度で1時間に16万部。紙面の美しさと速さは日々の点検や努力が支える(南国市の高知新聞まほろばセンター)

## 正確に、速く、きれいに

新聞は取材と記事執筆、紙面編集、印刷という流れで製作しています。

取材と記事執筆を担うのは、記者です。高知市本町3丁目の高知新聞社編集局には

マン、イラストを担当するデザイナーがいます。記者は当事者の声や確かな情報を求

県立中芸高等学校1年生の皆さん17人(引率・篠崎 柊講師)が5月10日、高知新聞まほろばセンター(南国市蛍が丘1丁目)を見学しました。同センターは毎日、朝刊約18万2千部、夕刊約11万5千部を印刷、発送している情報発信基地です。

報道部、学芸部、運動部などがあり、県内12の支社・総支局、そして東京、大阪、高松にある支社も取材をしていきます。また紙面を彩る写真を撮影するカメラマンやイラストが添えられた記事は、次に編集部へ。編集部は紙面を編集する部署です。編集記者はニュースの価値判断をし、皿鉢料理の盛りつけのように紙面のレイアウトを考えます。紙面の右上に大きく置かれた記事はトップ記事。特に重要なニュースで出しにも人目を引くような工夫をします。できあがった紙面は専用の高速回線でもまほろばセンターへ送信、印刷が始まります。文字のにじみや、カラー写真の色などの確認を経て新聞が完成。県内各地の販売所に運び、みなさんのお宅まで配達します。

めて現場に足を運び、分かりやすさと正確さを心掛けて記事を書きます。さらにデスク、部長が記事の推敲を重ねますが、締め切りがあるため常に時間との闘いです。時には取材から帰って10分ほどで記事を仕上げなければならぬこともあります。部長らの手直しの後、新聞で使える文字か、人を不快にさせる表現はないかなど、校閲部でチェック

新聞についての出前授業のお問い合わせはNIE推進部(088-825-4081)へ